

# THE リアルタイム

発行者 サポートセンター連 広報担当 横浜市旭区柏町 59-2 Tel 045-360-9778 Fax 045-360-7004

社会福祉法人 訪問の家 ホームページ <http://www.houmon-no-ie.or.jp/>

旭区地域自立支援協議会 ホームページ <http://asahiku-net.com/>



## 開運! 連 神社



**年始の会、開催!**  
一月四日(月)、新しい年の始まりとして年始の会を行いました。外に出かける事や大勢で集まる事を制限されてしまった二〇二〇年。そんな中でも、「例年と変わらず書初めをやりたい」「できない事が多い中でも、出来る事をやりたい」という思いから、今年も開催する事が出来ました。

今年、年男を迎えた工房1の中橋翔哉さん(写真上)。集まる事は避け、年男年女の方のみで実施した為「皆の前で書初めをしたかったのに…」と少々残念な表情でしたが、いざ本番になると大きな筆を使って力強く仕上げてくださいました。

また、連の中で初詣が出来るよう神社を設置しました。鳥居から神様を祀っている神殿まで全て手作り! 沢山の方が参拝してくれました。

みんなの協力とアイデアによって行なう事が出来た年始の会。「当たり前」の日常「安心な世の中」に戻る事を願いつつ、二〇二一年を過ごしていきたいです。

(平山)

# 一粒万倍



## 連の歌姫、コロナ禍でパワー全開！・・・の巻

「♪ド〜ルチェ・ア〜ンド・ガッバーナーの〜」といえば、テレビでも人気絶好調のシンガーソングライター、瑛人さんの「香水」ですね。私たちサポートセンター連の“歌姫”こと朋美さんは、このシュールな香水の曲を見事に歌い上げ、そしてその姿がなんと YouTube に配信されました。

というのは、旭区内の障害福祉事業所が連携して、障害への理解啓発を目的に、旭公会堂で毎年『あっぱれフェスタ』（今年で 7 回目）というイベントを開催しているのですが、コロナの影響によって、今年度は新たな試みとしてリモート開催としました。具体的には、動画投稿サイト YouTube を使って、障害のある人たちの自慢のパフォーマンス動画（D-1 グランプリ）を配信しました。朋美さんは、その出演者として、連の仲間のバックダンサーとともに香水の歌で出演したのです。

歌の上手な人は、「喉ではなく身体全体で歌う！」と言われますが、朋美さんの歌い方は、まさに身体全体です。脳性麻痺という全身性の重度の障害があるため、車いすユーザーで、手足を自由に動かすことが難しいのですが、持ち前の表情の豊かさ、そして声の抑揚の付け方も絶妙なため、「聴く人の心を揺さぶる」見事なほどの表現力、テクニックを持った女性です。

数年前、この D-1 グランプリに朋美さんが初めて出演した際、会場で聞いていた当時の旭区長が、目頭を熱くしながら「感動した！」とコメントしてくれました。

歌を通して、聴く人の心に感情込めて訴えかけることができる朋美さんを、私たちは、自信をもって「連の歌姫！」と呼びたいと思います。

さて、障害のある人が行う“活動・役割”といえば、一昔前までは、経済的自立を支える物作り、生産的活動が中心で、絵とか歌などのアートの創作活動というのは、本人の生きがいや脳機能のリハビリが目的でした。しかし最近では、多様性が認められる世の中の動きの中で、例えば、障害のある人の表現スタイルがデザインとなって、一般企業の製品や広告のロゴなどに採用されるケースが生まれるようになりました。直感的に描かれる彼らのアートには、華やかな色彩や概念にとらわれない個性的な表現、そして、自由な心から湧き上がる作品が人の心を揺さぶり、評価されているのだと思います。

先日、「香水の歌、すごくよかったですよ！」と朋美さんに感想を伝えたところ、「わたしの歌をたくさんの人に聴いてほしいです！」と歌に向けての強い信念を、身体をのけ反り全身を緊張させながら力強く話してくれました。好きなこと、自信があることを通して、新しい誰かと出会い、つながりを持てることって素敵なことですね。それは、朋美さんにとっても大きなエネルギーになりますし、朋美さんの歌によって私たちも励まされ勇気を得ることができるのです。

今回の YouTube 配信は 3 月中旬で終了していますが、これからも朋美さんは歌い続けると思います。皆さんにも是非、歌姫を届けられる日が来るといいなあと思います。

ちなみに、実は、朋美さんには“香水”の歌を一番届けたい！聞いて欲しい！大好きな人がいます。

聴く人の心を揺さぶる見事な表現力の源は、大好きな誰かへの“想い”だったのですね。

年頃の歌姫、淡い恋心の春を迎えています。【白鳥】



# 「地域生活支援フォーラム」のご報告



旭区地域自立支援協議会では、今年も「旭区地域生活支援フォーラム」を開催しました。今回は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、13回目にして初めてのオンライン開催となりました。大規模な会議や研修会などが中止になるなか、協議会では「こんなコロナ禍の折だからこそ、福祉を止めてはいけない。何とかして開催しよう」と新しい取り組みへの挑戦をしました。しかし、オンライン開催という誰も経験したことが無い中での開催でしたので、参加者が十分集まるのか・・・といった不安はありましたが、当日は180名近くの方に参加していただきました。中でも普段以上に当事者やご家族の参加が多く、オンラインでの開催によって気軽に参加をしていただけたのではないかと感じています。

## 当日内容

- 1部 基調講演 『障害者の8050、ひきこもりの8050』  
又村あおい氏より
- 2部 シンポジウム ～旭区の支援現場からの報告～  
よこはま西部ユースプラザ 池田氏、横浜市若葉台地域ケアプラザ 原田氏、  
旭区福祉保健センター 横山氏 の3名より



## アンケートより

講師・シンポジウムのコーディネーターを務めてくださった又村あおい氏の話から、「困り感のない当事者、家族へアプローチすることの難しさを改めて知った」等の感想が寄せられていました。また、シンポジウムについて「シンポジストの言葉に勇気づけられた」という当事者・家族の声や、「様子見になりがちな支援で、あっという間に時間が過ぎてしまうことを実感している」という支援者の声など、それぞれの立場から感想を寄せていただき、多くの方に見ていただけた事を実感しました。

なんと、フォーラムに参加された96%の方から「非常に良い」「良かった」とご好評もいただきました！

## 舞台の裏側

配線が絡まらないよう注意！



接続や音声をみんなで確認中...



台を使って位置調整、映りはバッチリ！？



無事終了！お疲れ様でした！！



今回のフォーラムですが、最初に、新しいパソコンと古いパソコンでは使えるソフトが違うということが判明！パソコンを揃えることから始まりました。他にも、登壇者が近すぎると他人の声を拾ってしまいハウリングして聞きにくい…。どのくらい距離を空けたら良いのか、はたまたヘッドセットを使った方が良いのか。どうすれば聞いてもらいやすくなるだろう…ということを考え、通常業務が終わった夕方の時間から連日、試行錯誤を重ねてきました。そして当日無事にフォーラムが開催できました。困難な時だからこそ、新しいことを恐れず挑戦していくことの大事さを実感させてもらった13回目のフォーラムとなりました。

(基幹相談担当：高橋)



# 成人おめでとうございます！



1月22日（金）日中活動工房1に所属している駒崎花渚さんの成人を祝う会を開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、今回は参加人数の制限や距離を取った席決め、声を出さずにメッセージが伝えられる「手持ちのポップ」やマスクに「祝」シールを作るなど…プログラムの見直しと衛生対策を徹底しました。



お母様が着付けてくださった、素敵な赤い振袖と髪飾りを身につけて、花渚さん入場！はじめはとても、緊張の面持ちの花渚さんでした。

名里理事長や、白鳥所長からのお祝いの言葉。学生時代の先生達から「お祝いビデオメッセージ」等…今回、先生方には「オンライン参加」もして頂きました。



密になれない、集まるのが難しい…でも今回の成人を祝う会は少人数でも、アットホームな雰囲気の中、会は進んでいきました。

乾杯の場面では、花渚さんを優しく気遣われる妹さんのさりげなく、素敵な姿を拝見させて頂いたり。

スライド上映の、写真の中の花渚さんはいつもご家族の笑顔に包まれ「明るく・楽しく・暖かく」見守られ、成長されてこられた事が、とてもよく伝わるお写真ばかりでした。ちなみに…写真の中の、花渚さんの横で…誰よりも満面の笑みで微笑まれているお父様の笑顔！がとても印象的でした。



花渚さんの晴れ姿をご親族にもお披露目！

そして、連 成人を祝う会名物！「新成人からのメッセージコーナー」ではこの日のために用意した、家族写真のラベルシールを、クッキーに貼る作業姿とクッキーにちなんで「恋するフォーチュンクッキー」のダンスをサプライズ披露！何度も何度も“秘密練習”を繰り返し（笑）当日が今までで一番の、最高のパフォーマンスとなり、大いに盛り上がりました！

いつもはその、愛くるしい表情や、仕草が可愛らしい花渚さん。会の中では真剣な表情で、話している人をジッと見ていたり普段の、クッキー作りの活動を元にした“パフォーマンス”を堂々と披露するなど、「大人」な一面も見せてくれました。ラポールで行われる「大人の集い」が中止となった今回

花渚さんの成人を、連で一緒にお祝いできたことをとても嬉しく思った一日でした。

（日中活動担当：羽田、山野上）

仲間を代表して、同じグループの中橋翔哉さんがお祝いの言葉とメッセージカードや花束のプレゼントをしました。花渚さんはジッと中橋さんを見つめ、お祝いメッセージを聞かれていました。



メッセージカードには…写真やメッセージがいっぱい！デコレーション盛りだくさん！みなさんから花渚さんへの気持ちが伝わるかわいいカードがたくさん出来上がりました！

緊急事態宣言中!

# あさひ地区では…

連

運動中も!



仕事中も!



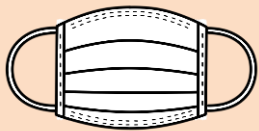
距離をとって  
活動中!



休憩中も!



食事中も!



コロナ禍において、様々な感染防止対策を行い制限のかかってしまうことが多かったのですが、そのような中でも「今だからできること!」に着目し新たな事にも色々と挑戦してきました。「ピンチをチャンスに!」を合言葉に…。(小原)

ソーシャル  
ディスタンス

## 後見的支援室 絆

在宅勤務を実施しています!なので ⇒ 朝礼はZOOMで!



## 旭区基幹相談支援センター

ZOOMを活用して会議を開催



アクリル板を設置  
事務所&面談室



感染対策の訪問セット



消毒、検温、換気も徹底



面談はマスク着用で

# 土曜ディサービス 一年を振り返って



「いいねえ〜」「すごいねえ〜」

普段は物静かなWさんが通所されると嬉しそうに話しかけて下さいました。お部屋に来る途中で沖縄三線の会『やーるーず』さんのリハーサルの模様を見かけたそうです。

【地域のボランティアの方々との関わりを深めていきたい】をテーマにスタートした今年度の土曜ディサービス、回を重ねるごとに利用者さん達も楽しみにされている様子です。

11月公演の『やーるーず』さんにお話を伺うとコロナ自粛の関係もあり3月以来のステージとのことで、とても張り切っていらしてエネルギッシュな歌やダンスに利用者さんもノリノリ！沖縄民謡♪ゆいゆいゆい♪ゆいゆいゆい♪ゆいま〜る♪の大合唱となりました。『ゆいま〜る』とは沖縄の方言で「一緒に頑張りよう」という意味もあるそうです。

大変な状況だけどみんなで頑張りよう！！そんな思いを改めて共有できた1日となりました。



もうひとつのテーマ【様々なことにチャレンジしていきたい】では12月にクリスマスケーキ作りを行いました。

クリームを泡立てたりイチゴをトッピングしたりみなさんと楽しそう！協力しながら2つのケーキが完成し「メリークリスマス！！」手作りのケーキを味わいながら1年を締めくくりました。



コロナ禍にありながらも、地域のボランティアの方々に多数参加していただき、利用者さん達も楽しい時間を過ごすことが出来ました。本当にありがとうございました。

緊急事態宣言発令の関係で1月、2月は残念ながら中止となってしまいましたが、来年度も【地域の方々との関わりを深めていく】、【利用者さんのチャレンジを応援していく】そんな土曜ディサービスでありたいと思います。(日中活動担当：丸山)



# 生活支援事業まとめ

## 一時ケア



## 余暇支援



## ショートステイ



今年度は、毎年恒例だった余暇プログラムの自粛、一時ケアやショートステイの受け入れ人数の制限を行いました。そんな中でもみなさんにお会いできたことをより一層うれしく思えた年でした！

一時ケアでは、自立課題を提供したり近所に散歩に出かけたり、一緒にゲームをしたり…コロナ禍でも出来ることを見つけ出し、充実した時間の過ごし方を提案できたのではないかと考えています。

余暇支援については、企画のアイデアを練っていますので状況を見て実施する予定です。その時は一緒に楽しい時間を過ごしたいと思いますので、期待しててくださいね！

ショートステイでは、コロナ禍でも「緊急時の受け入れ・対応」は足を止めずタイムリーに行ってきました。急な利用はご本人・ご家族にとって不安に感じるかと思われませんが、ご本人の気持ちに寄り添いながら過ごしていただくことを大切にしてきました。

皆さんもこのご時世で様々な工夫やアイデアを凝らして生活されているかと思いますが、生活支援事業はパワーアップしながらも、大切なものはそのままに…これからも利用された方の心がたくさん動く、あたたかい場所にしていけたらと思います。  
(生活支援担当：大野)

### 【主な予定】

- **第4回 連GALLERY~作品展~**  
3月22日(月)~26日(金)  
場所:第一会場 サポートセンター連  
第二会場 みなまきラボ  
(南万騎が原駅前)
- **「子育て相談」**  
令和3年度も引き続き地域交流室にて  
毎週木曜日 10:15~11:15 実施します。  
※ご予約は不要ですが人数制限あり。
- **年度初めの会(連・日中活動)**  
4月1日(木) 日中活動各グループにて。

### 【ボランティアさん募集】

サポートセンター連では、日中活動を中心に、ボランティアさんを募集しています。ボランティアに興味をお持ちの方は、ぜひ下記までご連絡ください。  
問合せ先：360-9778 担当:成田

### ～編集後記～

2021年もスタートして3か月が過ぎようとしていますね！桜がきれいに咲き乱れる季節に移り替わる3月。出会いと別れの季節でもあります。この1年、みなさんはどんな想いで過ごされてきましたか？制限のある生活、ある意味じぶんたちの価値観を変えて過ごされていた時間だったのかもしれないね。

今年度の広報委員会は、制限のある活動のなかで、何を話題に広報誌を作成しようか毎号毎号悩んできました。ネタを探し、アイデアを出し合い、取材のもと原稿を作成し発行するのが一連の流れですが、アイデア出しの段階で頭を抱えることになるのかと想像していたのですが…。

委員一人一人が提案し、いろんな視点から意見を出し合い、切磋琢磨しながら、(期日もしっかりと守りながら)4人で広報誌を作ることが出来ていた一年となりました！

今年度も、手に取り読んでくださった皆様、ありがとうございました。また、次年度も楽しみにしててくださいね！

(広報委員 田村)

令和2年4月の半ば…第1回目の緊急事態宣言から始まった今年度は、なかなか集まることが難しい幕開けとなりました。

三密を避け不要不急の外出制限、ソーシャルディスタンス、マスク着用など…新しい言葉、新しい生活スタイルで上半期を過ごしました。

地域交流でもイベントはもちろん、交流室のご利用やおもちゃ文庫のご利用を中止しましたが、地域の方々が連に来館されない毎日は、寂しさを感じる事の多い日々でした。

地域交流室  
おもちゃ文庫の  
新しいご利用方法を  
整備し  
7月よりご利用  
再開！

9月  
「子育て相談」再開！  
人数制限など  
区役所の方々と  
新ルールを整備し  
再開することが  
出来ました。

9/30  
地域交流イベント  
「青空おはなし会」  
開催！  
やっと開催できた  
イベントでした

「ハンドメイド  
マーケット」  
自主製品の販売をし  
地域の方々に  
お買い上げ頂く傍ら  
じゃんけん大会を  
開催しました。



「青空ランチ会」  
こんがり工房の  
前のスペースを活用し  
青空の元  
地域の親子さん達に  
ランチを楽しんで  
頂きました。



「みんなで  
シャボン玉」  
いつもは夏に行う  
イベントですが  
10月の末に  
開催しました。



密を避け、野外を中心に  
ミニイベントを開催してきた今年度。  
次年度も引き続き「コロナ禍でもできる事！」を  
合言葉に、イベントを企画していきたいと思いを。

そして、次年度は「連・ふれあいまつり」の開催が  
できる事を願っています。

(地域交流担当：禾木)